

法人会は「健全な経営・正しい納税・社会に貢献」をテーマに活動する経営者の団体です

特集

「令和6年度税制改正へ提言！」

BRIDGESTONE 長谷川タイヤ興産(株)



Photo: 左から3人目 三塚 真太郎 社長

企業リレー

【毎号表紙を飾っていただくのは各企業の社員さんです。】

長谷川タイヤ興産株式会社

当社は昭和4年に長谷川タイヤ商工という名称で当初は日東タイヤの販売店として創業しました。その後、プリチストーンタイヤの製品販売を行うようになり、昭和36年には長谷川タイヤ興産株式会社として新たに法人を設立し、現在に至ります。

過去には栗原市築館に、更生タイヤという、一度使用したタイヤに溝を張り付けてもう一度新品時と同様に使用できる状態に加工した商品の製造工場もありましたが、昭和46年に当社の更生タイヤの製造は廃止し、現在では栗原市築館伊豆にあるミスタータイヤマン築館と、栗原市志波姫堀口源光にある長谷川タイヤトラックセンターの2店舗にて、タイヤの販売、交換作業、ドライブレコーダー等自動車関連用品の販売取付を主として営業を行っております。取り扱いメーカーは、プリチストーンタイヤをはじめとし、ヨコハマタイヤやダンロップタイヤ等の国産メーカーのほか、リースナブルな海外メーカーのタイヤも取り扱いをしております。

現在ミスタータイヤマン築館では、毎週土曜、日曜にオイル交換イベント「オイルの日」を開催しており、ガソリン車限定ですがオイルの使用量は関係なく、軽自動車1,500円、普通車2,000円の一律の金額でオイル交換を行っております。長谷川タイヤトラックセンターでは、大型車のほかにも農業用のトラクターや荷車、ホイールローダー、グレーダーなど重機関係のタイヤ交換も行っております。

最近では新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、春や冬のタイヤ交換時期に、できる限りお客様の待ち時間や混雑を無くせるよう両店舗ともに予約制での交換作業を導入いたしました。タイヤという商品は、自動車部品の中で唯一路面と接している自動車部品の中でも非常に重要な部品になりますので、安心、安全第一をモットーに、常に良質なサービスをお客様に提供できるようスタッフ一同、誠心誠意ご対応をさせていただいております。引き続きタイヤという商品を通して、地域のみなさまのお役に立てるよう努力をしておりますので、今後とも変わらぬご愛顧をどうぞよろしく願いたします。

●企業リレー ●活動レポート 令和5年7月後半～10月

めざします。「みんなの法人会」

財政健全化は国家的課題。

負担を先送りせず
現世代で解決を！

私たち法人会は、令和6年度税制改正で実現を望む提言をまとめました。

法人会が戦後の自主申告納税制度が導入されたのを契機に、税知識の普及と納税意識の高揚を図

ることを目的に企業経営

者の自発的な声を基に法人会の誕生を見ています。

以来60有余年にわたり、

毎年欠かさず、私たち中

小企業の声を全国から集

約し、政府はじめ関係諸

令和6年度
税制改正に関するスローガン

(総論)

- ・ 財政健全化は国家的課題。
負担を先送りせず現世代で解決を！
- ・ 企業への過度な保険料負担を抑制し、
経済成長を阻害しない
社会保障制度の確立を！
- ・ 経済再生には中小企業の力が不可欠。
健全な経営に取り組む企業に
実効性ある支援を！
- ・ 中小企業は地域経済と雇用の担い手。
本格的な事業承継税制の創設を！

官庁に税制改正への提言を続け、これまで多くが実現をみてきています。

提言の冒頭で、我が国の地方を含めた長期債務残高は国内総生産(GDP)の2.2倍以上にまで膨らみ続け、世界で突出した状況にあり、我が国の将来を制約する課題となつていきます。

にもかかわらず、現政権が「新しい資本主義」の中で「異次元の少子化対策」を打ち出しており、未来への投資は重要であると理解するものの、その財源については歳出改革で行おうとしています。が、どうするかについては先送りという残念な状況です。

また、国家の根幹である防衛力を担うに足る安定財源も定まっていない状況にあります。歳出ありきの先行論で財源論を置き去りにしている実情

は、財政規律を決定的に棄損させかねないものと憂慮しています。

法人会は、負担を曖昧にして歳出を先行実施する財政運営を是正する上で、米国が採用する新しい政策として歳出削減で財源を捻出するか、それができなければ増税で財源を確保するという仕組みの「ペイアズユーゴー原則」が有効だと提唱しています。

まずは、2025年度の基礎的財政収支(プライマリーバランス)黒字化目標を確実に達成するとともに、財政健全化の議論も並行して議論を開始する必要があると救国的姿勢で迫っています。併せて、2年以上にわたるコロナ対策で財政出動した財源の借金返済について、先進国の多くが債務返済計画とともに実行に移しているように、我

が国も早急に具体的方策を策定して実行に取り組みと強く求めています。

とくに法人会は、コロナ禍の昨年度来、将来世代にツケを回さずに、政府保有株式売却や東日本大震災での復興計画に用いられたように税などを財源とした解決策が望ましいとしたうえで、現世代で解決すべきであると主張しています。

一方、「給付」を拡大させ、それに見合う「負担」を回避してきた結果、持続可能な社会保障制度も危ぶまれています。その解決のために、我が国本来の「中福祉・中負担」の均衡構造に改革に速やかに取り組み、最速のスピードで進む少子高齢化や人口減少、財政健全化を目指すことを求めています。さらに、財政健全化の上からも徹底した行政改革も不可欠で、国や地方



の取り組みは遅々としており、国民の不満と不信感は高まっており、政府と議会は「隗より始めよ」の精神で自ら身を削るなどの徹底した行政改革に取り組みと強く訴えています。

また、地域経済や雇用の担い手である中小企業は我が国経済の土台であるとの認識の立場に立ち、企業経営を取り巻く環境は、コロナ禍で体力を奪われ、立ち直れない向きも少なくないとしたうえで、事業承継や消費税のインボイス制度などへの対応に追われている実情を鑑みて、税財政上のキメ細かい支援が必要であると求めています。

責任ある態度と良識ある姿勢で実現を求めている法人会の税制提言活動に対し、皆様のご理解ご支援を心からお願い申し上げます。

就任のご挨拶

築館税務署長 黒澤 雅子

7月の異動で、サクラノボの里、山形県の寒河江税務署から参りました黒澤です。着任後、管内をまわり、当地が、悠久の歴史や豊かな自然に恵まれており、まさに「暮らしたい栗原」、「住み続けたい故郷」なのだと感じました。

白鳥会長様をはじめ栗原法人会の皆様には、日頃から税務行政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り

まして誠にありがとうございます。特に、「税に関する絵がきコンクール」の募集や「租税教室」への講師派遣、さらには栗原法人会独自の取組となる「高校生の税の写真展」の開催など、日本の将来を担う子どもたちへの租税教育にご尽力いただいていることに、心より感謝申し上げます。税務行政を取り巻く環境は、大きく変化し、大規模

な組織改革も行われております。築館税務署はその渦の真ただ中におります。本年から、内部事務が仙台に集中化され、職員も18名から13名に減少しております。

このような状況のなかでも引き続き、国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、納税者サービスの向上に引き続き努めるとともに、適正な申告を行った納税者が不公平感を抱かないよう、適正・公平な課税・徴収を行うことが重要であると考えております。

しかし、先ほども申しましたとおり、職員の減少により、私どもの力だけでは、この組織目標を達成することは困難な状況にあります。今こそ、税の理解者であり、地域のオピニオンリーダーである法人会の皆様のお力をお借りし、栗原地区の税務行政の運営を行いたいと

考えております。今まで以上のご協力を賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。

特に本年、私どもが力を入れている課題は、10月から開始されたインボイス制度の円滑な導入と、キャッシュレス納付の利用拡大です。

特に、キャッシュレス納付の割合につきましては、令和7年までに40%とする目標が示されております。

これらの様々な取組を行っていくためには、栗原法人会の皆様方の事業活動を通じたご支援が欠かせないものと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、栗原法人会の益々のご発展と会員企業のご繁栄、さらには役員・従業員の皆様のご健康をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



7/28
Fri



青年部会定例会（経営セミナー）

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」
演 題：「自社の経営改善のヒントを数字から見つけよう」
講 師：株式会社 坪内経営コンサルタンツ
代表取締役 坪内 啓 氏
参加者数：14名

8/2
Wed



経営セミナー

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」
演 題：「利益を確保する、7つの法則」
講 師：有限会社 まる進
代表取締役 中小企業診断士 渡辺 進也 氏
参加者数：18名

9/30
Sat



第10回法人会杯市民健康パークゴルフ大会

場 所：栗原市一迫「小田ダム湖畔パークゴルフ場」
参加者数：128名（内一般118名）
◆男子
優 勝 今野富士夫（築館） 準優勝 千葉 利幸（一迫）
3 位 高橋 祐一（若柳） 4 位 横須賀富男（一迫）
5 位 高橋 滝男（一迫）
◆女子
優 勝 高橋八重子（築館） 準優勝 鈴木 文枝（築館）
3 位 福地 峰子（一迫） 4 位 山下 豊子（瀬峰）
5 位 田村 英子（志波姫）

10/2~6
Mon Fri

第7回高校生の「税」の写真展開催

場 所：栗原市築館「栗原市役所1階ロビー」
テ ー マ：「身近な税の使い道」
応 募 数：22作品
租税教育推進の一環として開催し、多くの方にご来場頂き、審査にご協力を頂きました。
審査発表を兼ねて11月1日～17日までイオンスーパーセンター栗原志波姫店に作品を展示します。その後も11月末までくりこま高原駅内（観光案内所・展示スペース）に展示します。



左から白鳥正文会長・黒澤雅子税務署長・三宮参青年部会部会長



審査会の様子

10/20
Fri



租税教室「税金で魅力あるまちづくり」

対 象：若柳小学校6年生
講 師：青年部会会計幹事 堀本 教信 氏 他4名
参加児童数：101名

10/24
Tue



地区懇談会

場 所：栗原市志波姫「エポカ21」
演 題 ①：「あなたの知らない税察の世界」
講 師：築館税務署 署長 黒澤 雅子 氏
演 題 ②：「安倍総理・菅総理に見るリーダーシップ」
講 師：参議院議員 和田 政宗 氏
参加者数：49名（内一般7名）
異業種交流懇談会：28名（内一般4名）

